

広報課・阿部佑一朗さん(平成 30 年度採用)



Q 地方創生枠で島田市役所を志望した理由を教えてください。

島田市は、世界一の長さを誇る木造歩道橋「蓬莱橋」をはじめ、観光地、名産品、歴史、文化等、様々な魅力が点在している街です。自分にとっても、学生時代を過ごした馴染み深い街です。

私は、大学から京都市に在住し、日本の代表的な観光地としての側面と、住民の生活の場としての側面を併せ持つ京都市の魅力を、一人の市民として実感することが多々ありました。そういった、県外の観光都市で生活していた感覚や視点を、島田市の魅力を発信していく上で、活かすことができるのではないかと考えたのが、理由の一つです。また、民間企業同様、市の財政に関しても、収入と支出のバランスを考慮して取り組む姿勢が大切だと思います。より良い街づくりをするためには、歳入を増やし、市の財政が潤うよう考えていく必要があるので、そういった民間経験者としての視点を、市役所の業務に活かしていければと思い、地方創生枠を志望しました。

Q 現在の仕事に前職の経験はどのように活かされていますか。

現在、私は広報課でシティプロモーションを担当しています。市のシティプロモーションに関わること、ホームページの運営、広報紙に関わること等、業務は様々です。前職では、接客業や宝飾・アパレル通販サイトの運営等の経験があり、窓口対応や Web サイトの基本的な知識は実務に活かすことができます。民間経験者といっても、市役所の業務は多岐にわたっており、初めて経験する仕事がほとんどだと思います。今まで培ってきたスキルと直結していなくても、経験値を活かして、乗り越えていけることもあるかと思いますが、気負わずに、周りの同僚や、先輩、上司とコミュニケーションを取りながら、一つ一つの仕事を積み上げていくことが大切だと思います。

Q 実際に働いてみて、島田市役所はどのような職場ですか。

市職員は、数年ごとに部署の異動があるため、上司や先輩には、様々な経験と知識を持った人たちが多く、話を聞いているだけでも刺激を受ける人がたくさんいます。多様な分野で活躍するジェネラリストとしてだけでなく、それぞれの分野に精通するスペシャリス

トとしても成長できるチャンスのある職場だと思います。担当業務にもよりますが、市役所内だけではなく、外部の業者や市民の皆さんと関わる機会も多いので、様々な人との出会いと繋がりの中で、成長していける職場だと思います。

Q 地方創生枠を志望する人へのメッセージをお願いします。

島田市職員の中には、社会人経験者はもちろん、市外・県外出身者も多く在籍しています。社会人経験で得た知識や市外・県外の生活で培った視点が、市役所の仕事を通して、島田市に新しい風を吹かせてくれると思います。

今まで島田市を知らなかった市外・県外の皆さんも、ぜひチャレンジしてみてください。市役所の業務は多岐に渡りますが、だからこそ、自分の持ち味を活かせる仕事が見つかると思います。島田市と一緒に盛り上げていきましょう！